平成 28 年度　第 1 回

旭川市音楽堂等運営協議会

日　時：平成２８年６月２８日(火)

午後６時３０分～午後８時

場　所：旭川市大雪クリスタルホール

１階　第１会議室

平成２８年度　第１回　旭川市音楽堂等運営協議会　会議録

【日　時】　平成２８年６月２８日（火）　午後６時３０分～午後８時
【場　所】　旭川市大雪クリスタルホール　１階　第１会議室
【出席者】　委員：木村会長，鈴木副会長，石塚委員，佐野委員，
シャープ委員，庄司委員，高野委員，宮田委員，
渡辺委員
市側：社会教育部長，文化ホール担当課長，
大雪クリスタルホール館長，同主査
【内　容】
１　開　会
２　社会教育部長挨拶
３　会長挨拶
４　議事

事務局：議事（１）平成２７年度旭川市大雪クリスタルホール利用状況について説明した。
～会議資料１ページ～

議　長：ただいまの報告について，御質問のある方はいらっしゃいますか。
特になければ，議事（２）平成２７年度自主文化事業実施状況について事務局から御説明願います。

事務局：議事（２）平成２７年度自主文化事業実施状況について説明した。
～会議資料２，３ページ～

議　長：自主文化事業の実施状況について，御意見や御質問がありましたらお願いします。
委　員：こどもオペラの公演の時，大雪アリーナで開催している花フェスタと重なり，駐車場が混んでいたということですが，こういった状

況になることはどの時点で分かって，あらかじめ折り合いを付けられないものなのでしょうか。

事務局：毎年実施している事業であればある程度予測はつきますが，自主文化事業の公演も出演者の日程に合わせて決めなければならない場合があり，事前に重複することがわかっていても，それを避けられないということがあります。

委　員：催事が重複してしまうと，言葉は適切ではないかもしれませんが，お客さんを奪い合うといったことも生じるのではないかと思います。

委　員：駐車場において，大まかにこちらはクリスタルホール用ですよ，こちらは花フェスタ用ですよ，というように分けておくと，お客さんも納得してくれるのではないかと思うのですが。

委　員：私も今年の花フェスタを見に行きました。天気が良くてみんなが集まると駐車場も混んでいますが，そうでない時間帯もあります。今回のように周りの施設で大きな催し物があり，クリスタルホールのコンサートが３時開始ということだったことが，混雑を大きくしたと思われます。あらかじめそのような混雑が予測される場合に，対応できたらいいのにと思います。

事務局：周りの施設がクリスタルホールの駐車場を利用する場合は，警備員を置くよう依頼しています。

今回，花フェスタと重なったこどもオペラの公演については，開始時間を５分遅らせましたが，実際には５分遅れて来られる方はいませんでした。

駐車場の問題は前回の運営協議会でも話題になっていました。御意見を参考にしながら，検討してまいりたいと思います。

議　長：では次に，（３）平成２８年度自主文化事業計画について，事務局から説明をお願いします。

事務局：（３）平成２８年度自主文化事業計画について説明した。

～会議資料４ページ～

議　長：自主文化事業計画について，何か御質問等はありませんか。

委　員：DVD サロンコンサートについてですが，昨年は定員を超え盛況だったので，今年は大きな部屋にするとか，回数を増やすというのならわかりますが，回数が減るというのは，やはり予算の関係でしょうか。

事務局：一番の理由は予算の関係ですが，サロンコンサートではお茶とケーキを販売し，くつろいだ気分で楽しんでいただこうと思っていますので，大会議室など，レセプション室以外の部屋はなじまないということもあります。

委　員：公募型市民企画公演についてですが，公演の中身や開催日などは既に公表されているのでしょうか。

事務局：公演内容については，プレゼンテーションを行っていますので，我々も把握しています。日程についても大筋は決まっていますが，正式な契約はまだ結んでいないということで，最終決定ではないということです。

公演は，来年の１月末を予定しています。

委　員：ストラディヴァリウス弦楽四重奏団の公演はどういう過程で決められたのですか。

事務局：来場者へのアンケートを実施しているのですが，毎年同じような内容にならないよう，ある程度分けてアンケートをとるのですが，弦楽の部分ではストラディヴァリウス弦楽四重奏団が希望する１位でした。

議　長：それでは次に，（４）その他の事業について，事務局から説明をお願いします。

事務局：（４）その他の事業について説明した。

～会議資料５，６ページ～

議　長：では，その他の事業について何か御質問はありますか。

委　員：旭川・ウィーン国際ヴァイオリンセミナーの今後については，何か継続する案とかはあるのですか。

事務局：今のところ継続という予定はありませんので，セミナーとしては終了ということになります。

委　員：ヴァイオリンセミナーのほかに，何か新しい事業としてこういうことができないかという提案などの受付はされているのですか。

事務局：ヴァイオリンセミナーについては，１９年前にウィーン国立音楽大学学長のフリッシェンシュラガー先生をはじめとする同音楽大学との交流がきっかけとなって始まったものですが，こうした事業を新たに実施するのは難しい状況にあります。自主文化事業の中で工夫できるものがあれば検討していきたいと思います。

委　員：市の補助金や助成金といったものがどんどん減っていき，文化や音楽の面では寂しい気がします。若い人達にも発奮していただいて，新しいものを立ち上げる仕組みを，教育委員会としてはどのように考えていますか。

事務局：行政が主導して何かをするというよりも，こういった活動をやりたいという自主的な団体を支援することとしており，文化振興課で出している補助金も，団体の事業を側面から支援するという趣旨になっています。

　ヴァイオリンセミナーも民間の方たちが連携して作り上げているものですので，そのようなものであれば市が連携する可能性はあると思います。

　社会教育部では芸術文化全般を担当していますので，音楽，美術，彫刻などさまざまな文化団体が連携する試みなども，今後進めていければと思います。

委　員：今年の北海道音楽大行進は天候の都合で中止になりました。幼稚園や小学生の卒園，卒業する子どもたちが，参加できなくて残念だったという話を聞きました。そういう子どもたちのことを考えると，

何か違った形のものでもできないかなと感じます。発表の場が消えてしまうのは非常に残念だなと思います。

委　員：音楽大行進は，日にちを変えることはできなかったのでしょうか。

事務局：音楽大行進には全道から参加者が集まります。過去８０何回の歴史の中で雨により中止になったことはありません。雨が降っても実施していました。しかし今年は，雷の予報が出ており，雷が楽器に落ちると命に関わるということで，苦渋の決断をしたものです。

今まで練習をしてきた人たちには気の毒だという声や，どこかで発表できる場を作ってはという意見もあります。今後，検討の必要はあると思います。

日にちについては，各団体ではバスの予約の都合もあり，その日でなければできないというところがたくさんあります。

委　員：私は音楽大行進の関係者ですが，音楽大行進を実施するためには交通規制の関係で警察署に計画書を提出し，事故のないようにしなければなりません。予定していた日がだめになると，警備から何から全て変わってきてしまいます。

日程は，大体６月の第１土曜日と決めているので，学校行事などの都合からも変更はできません。

学校関係者からは，中止の判断は正しかったのではないか，強行して事故が起きるよりは，結果としていい判断だったのではないか，という声を聞いています。

委　員：決断としては正しかったと思うのですが，中止になったことで新たな問題が出てきたので，検討する余地はあるのではないかと思います。

事務局：音楽大行進の実行委員会の中でも，中止の場合の対処については考える必要があるという意見があります。

議　長：ほかに御意見はありますか。

委　員：コンサートボランティアをやっていると，いろいろ頑張っている演奏会も見るのですが，大きいイベントとか，有名な人でないと，お客さんが来ないですね。

ところで，市民公募型で採択されなかった人が，個人でその企画を実施するというのはあるのでしょうか。

事務局：今年度の公募型に応募した人で，採択されませんでしたが，同じ企画を自分たちで行うという人がいます。

委　員：そのように，自分で企画を立てて行う人を，ボランティアとしてはお手伝いしたいですね。

事務局：公募型は，企画を立ててもらって，それを支援するという形ですが，企画を立てる前の段階から一緒に考えていくという形の事業を，公募型とは別に一つ考えています。

議　長：では次に，（５）平成２７年度社会教育基本計画の点検・評価について，事務局から説明をお願いします。

事務局：（５）平成２７年度社会教育基本計画の点検・評価について説明した。

～会議資料７ページ以降～

議　長：では，点検・評価について，何か御質問はありますか。

委　員：施策の方向のところに，４と１０という番号がありますが，この内容は何でしょうか。

事務局：施策の方向の４というのは，「市民が優れた文化芸術に触れ，自ら活動できる機会の拡充」ということで，１０は「学習成果を地域に生かす場と情報の拡充」というものです。

議　長：それでは，（６）その他について，何かありますでしょうか。

事務局：市内にある文化ホールの主なものに，大雪クリスタルホールと，市民文化会館，公会堂，そのほかに神楽公民館の木楽輪があります。市役所の新庁舎建設の基本計画の骨子で，市民文化会館は建替えの方向性での検討で進めていくこととしており，その検討が進められ

ていく中で，クリスタルホールを含めた市の文化ホールの管理運営の在り方などについても考えていくことになり，指定管理者制度の導入の検討も言われているところでありますが，今後，公共サービスの質などを確保しながら，職員が行っている業務の委託や，今，委託している清掃や警備などの業務をまとめていくなど，いろいろなことについて検討していくことで考えているところであります。

また，クリスタルホールも２０年を経過し，大きなものが壊れてきているので，今後の改修を計画的に行っていく必要もありますので，このような場をお借りしながら皆様から御意見等をいただければと思っております。

委　員：市民文化会館が建て替えになるとしたら，何年くらい先になるのですか。

事務局：市役所庁舎が先になりますので，１０年くらいはかかるのではないでしょうか。新庁舎を建てるのに４，５年かかると思います。その後，現庁舎を壊したり，駐車場の解体や第３庁舎の解体などもあり，その後市民文化会館の建設となると，やはり１０年くらいはかかるのではないかと思っております。

事務局：長い計画になりますので，その間に状況がいろいろ変わることも考えられます。クリスタルホールの指定管理者ということも，本当にそれがいいのかを検討しつつ決めていくということで考えておりますので，皆さんの御意見を今後ともよろしくお願いいたします。

議　長：では以上で会議を終了いたします。